

研究背景



課題 PV発電電力が急峻に変動し系統へ逆潮流

急峻な変動を平滑化するため、水電解装置と燃料電池を一体化した可逆セルを利用

研究の目的

可逆セルの動作に伴う応答遅れが、PV電力平滑化効果に及ぼす影響を定量的に評価

可逆セルの動作

可逆セルは水電解装置(WE)と燃料電池(FC)を同時運転は不可能

WEモード: 日中に発生する余剰電力の急峻な成分から水素を生成

FCモード: 生成された水素を使い、夜間電力を家庭に供給

対象のモデル

